

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年12月16日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677500110
法人名	社会福祉法人恵仁会
事業所名	グループホームあいら
所在地	鹿児島県鹿屋市吾平町上名5324-2 (電話) 0994-58-5539
自己評価作成日	平成28年11月21日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成28年12月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域の中で必要とされる、なくてはならない介護施設をめざして、次の理念の下、頑張っています。
 「黒羽子地区で春夏秋冬を感じながら共に楽しく過ごしましょう。」「美味しい物を美味しく食べて楽しい時には一緒に笑い、悲しい気持ちを分け合えられるそんな家族を目指します。」
 利用者ファーストに心掛け、安心、安全に穏やかな老後を送って頂く様に支援しています。季節季節で花を植え、旬の食材、地産地消を心掛けて、調理し食事が楽しみとなる様に支援しています。
 環境面では、関わる介護職が第1の環境と考え、常に笑顔で、明るく、時には娘の様に時には母の様に対応しています。又、静かで落ち着いた空間を演出し穏やかに過ごせる様に工夫しています。清潔も第1に考え日頃より清掃に力を入れ、居室、トイレ、共有スペースなどの清潔保持に努めています。
 「いつまでも此処で」という思いに応える為、看取り支援にも取り組んでいます。主治医・訪問看護・家族・事業所が連携協力し、利用者様を支える様にしています。地域交流にも力を入れています。地域の方がいつでも立ち寄って下さったり、夏祭りや慰問、ボランティアなど交流の場を設け認知症やグループホームへの理解を得られる様になって来ています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは、自然環境に恵まれた閑静な集落に位置するグループホームである。近くには、吾平山稜や大隅広域公園などがありホーム周辺は四季を感じながら散歩することができ、利用者の散歩コースにもなっている。
- ・理念は、パンフレットに記載され、共に四季を感じながら食を摂り楽しいことや悲しいことを分かち合える家族であり、日々触れ合い、楽しく過ごすことができることを理想として、地域に開かれたホームを目指している。
- ・法人は、医療機関が母体であるが特別養護老人ホームを中心に関連事業所も多数あり、グループ情報誌2016を介してホーム利用者の生活活動状況などを紹介したり、法人と協力して職員の勉強会や育成、資格取得に力を入れるなどサービスの質の向上に努めている。
- ・重度化や看取りについては、ホームの指針があり職員一丸となって支援しているところであるが、家族、主治医、訪問看護をはじめとする関係機関によるチームケアにて本人や家族が十分に納得した最期を迎えられるよう取り組んでいる。また、法人の医療機関との連携や適切な医療が受けられている。
- ・職員は、地域の行事や清掃活動などに参加したり、ホームの園庭を休憩場所として地域に開放しているため地域の方も気軽に立ち寄られたり、野菜などの差し入れがあったりと日常的に顔の見えるお付き合いをしている。また、災害時は、近所の方の協力体制が構築されている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を各ユニットに掲示して、いつでも確認できる様にしている。新しく見やすい物に変更した。利用者も声に出し、読んだりしている。	理念は、前回の外部評価の結果を受けて、目標達成計画に挙げ職員全員で取り組んでいるが十分とは言えない。管理者は、家族会を通じて理念に触れ唱和する機会も検討したいと考えている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の一員として日頃から積極的に挨拶を行い、地域行事に参加させていただいている。地域の奉仕作業時は一緒にお茶を飲みながら交流の機会を持っている。	地域行事（春祭り、十五夜など）、法人の夏祭り、地域の清掃活動や休憩場所としてホーム園庭を解放して地域と日常的に顔の見えるお付き合いを続けている。管理者は、地域の方々に向けて認知症や介護保険制度の理解など勉強会を開きたいと検討している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域運営会議や地域行事の際にグループホームや認知症ケアの実践例など会話の中で発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一回、会議を開催し利用者状況、サービス内容について細かく報告している。困っている事を議題に上げ改善策の意見をもらったりしている。	家族代表は、1年ごとに輪番制で交代し会議に参加している。行政から利用者の日々の暮らしを動画に撮り家族に報告してはどうかという提案や他メンバーから避難訓練の方法についてアドバイスを受け職員と検討したり、研修報告を行い全員で知識を研鑽している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>鹿屋市よりメールにて事務連絡があり、期日までに返事をメールしている。介護事故が起きた時には速やかに報告を行っている。</p>	<p>市担当者や福祉事務所担当職員とは、電話やメールで連絡や相談、報告をするなど協力関係を築いている。徘徊模擬訓練への参加のほか、地域包括支援センターと連携し、『オレンジカフェ』事業促進のため、利用者と職員と一緒に参加する予定になっている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>どんな時でも身体拘束をしないケアを考え、一人一人のケアの方法について話し合い、実践している。</p>	<p>管理者や職員は、毎月ミーティングでなるべく身体拘束をしない方向で話し合っている。安全管理委員会があり、事例検討をしたり、拘束することの弊害について共通認識を図っている。ふいに外出される方もあるが、身体能力によって対応したり、さりげなく職員が付き添うなど自由な暮らしを目指し取り組んでいる。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会、研修会に参加して高齢者虐待防止法について学び、虐待の無い様に、又不適切なケアは無かったか?話し合っている。職員がお互いに注意しあう様になっている。</p>			
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>勉強会、研修会に参加して権利擁護についても学習している。実際は成年後見制度の利用はない。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時に家族、利用者に説明をしっかりと行い、納得同意頂いている改定時は文書の交付と説明を家族会等にて行い、納得同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や受診時など状態報告を行い、家族会や面会后等お茶を飲みながら意見、要望を伺っている。ケアプランに反映したりしている。	利用者には、意見や要望が表出できるようコミュニケーションを図ったり、家族と職員は、年2回開催される家族会や面談時、行事、推進会議を通じて意見交換し出された意見などをケアに活かすよう努めている。家族から職員紹介写真のサイズが小さいとの意見があり改善したり、認知症高齢者の介護方法についてホームの取り組みやケアの方法について丁寧に説明し安心してもらっている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年度初めに運営規定や重要事項について説明し、年2回は職員の面接を行い、事業所への要望や意見を聞いている。	人事考課システムがあり、管理者は年2回職員と面談し給与体系や公休などの取り方、職場環境の整備をおこない働きやすい環境づくりを目指している。また、管理者はメンタルヘルス研修に参加するなど、職員にもメンタルチェックを実施している。今年には行事などの効率性を検討し、テラスの改修をしたり、ミーティングで業務改善を話し合っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員自身が自己評価を行い、管理者から見た職員の努力や実績を評価している。目標を半年ごとに設定し各自振り返り、工場出来る様にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内の勉強会を月1回行っている。自主参加や必須参加項目があり各自参加している。外部研修に順次参加させている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>介護事業所協議会に加入し、職員研修会や他事業所との交流、意見交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービス利用に際して利用者から聞き取りを行い、思いを受け止める様にしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>サービス利用に際して家族から聞き取りを行い、思いを受け止める様にしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>困っている事を伺い、必要としている支援、サービスを見極めて他サービスの説明や相談窓口の紹介を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>気持や残存機能を見極め、出来る事を本人の役割、生きがいとなる様に支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は本人の日頃の様子や思いを家族に伝え、家族の役割として、一緒に支え合う様にしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出身地域の方にボランティアに来て頂いたり、かかりつけ医に通い、友人知人と会える機会を作ったり、一時帰宅、外泊など家族の協力を頂きながら支援している。	ハーモニカ演奏のボランティアの方、傾聴ボランティアの方が隔週訪問される。また、行きつけの美容院の方がカットに来て下さったり、髪染めのため美容院に出かけたりしている。墓参りはないが、職員は家族との外出や外泊が気軽にできるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共同生活の一員としてお互いに思いやる気持ちを持って頂ける様に病気への理解をお願いしている。トラブルや孤立の無い様に職員が間に入り支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や他施設に移られた方へのお見舞いや様子伺いの訪問を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の想いを言葉やしぐさ、表情など日々の関わりの中から探り、意思確認を行ってから支援する様にしている。	職員は日々の暮らしの中で、会話や表情を見ながら思いや意向を汲み取るよう心がけている。意思表出が難しい方もおられ体調の安定、痛みのコントロールなど緩和ケアを進めながら本人主体のケアに取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所の際、本人家族より聞き取りをしたり、他施設からの入所の際は、施設からも情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の生活の中で一人一人の生活リズム・ペースを把握し、有する力の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族の意向を聞き本人の現状を把握した上で、課題やケアの在り方について介護計画を作成している。毎月モニタリングを行い、ずれが無い確認している。	アセスメント、モニタリングは、毎月ミーティングをおこない職員全員で情報を共有し、随時計画の見直しを実施、個別のカンファレンスにもなっておりチームケアが発揮できている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアの実践、結果、気づき等個別に記録し、朝夕の申し送りや連絡帳を活用し情報共有している。又介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療ニーズが増えた時には主治医・訪看・協力医療機関と連携を図り医療サービスに繋いでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域婦人部・地域ボランティア・中学生の福祉体験などを受け入れ交流し活用している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望するかかりつけ医に受診している。受診困難となった際は話し合いを行い、訪問診察を受けている。	定期受診は職員が支援しているが、医師の説明がある時は、家族に同席してもらっている。毎週1回訪問看護師が訪問、内服薬は薬剤師が訪問し薬の情報提供や指導、助言がある。また、訪問診療にて主治医が毎日のように来られ、夜間帯も適切な医療が受けられる体制が構築されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日のバイタル・体調チェックにて、変化や気づきを随時、看護師に相談し適切な受診に結び付けている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院中はなるべく足を運び、病状把握や関係者から情報交換を行い、なるべく早く退院できる様に支援している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に重度化や終末期の対応について説明し同意を得ている。又事前確認書を記入頂き、希望を伺っている。現在4名の方が看取り支援中であり、主治医・訪看・介護職・家族が情報共有し支援している。</p>	<p>「重度化した場合における対応に係る指針」があり、契約時、段階に応じて看取り介護に関する同意書、事前確認書（終末期の看取りについて）にて随時意思確認をおこない、方針を共有し家族、主治医、関係機関がチームケアにて取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年1回、緊急時の対応についての勉強会があり、訓練を行っている。欠席者に対しても情報伝達し、実技指導している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回総合避難訓練を行っている。消防署立ち会いにて、地域の方にも参加して頂いている。通報装置を火災ベル連動型に切り替えた。</p>	<p>地域には自動的に通報がいくなど協力体制があり、避難の際の役割分担も決まっている。3月に消防署の指導もあり、「刺股」を導入し防犯対策を図っている。今年の台風で2日半停電になった体験を踏まえ自然災害に対する準備も怠ることがないよう検討している。水、缶詰、乾物類などの備蓄をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として尊敬の念を持ち、個々に応じたプライバシーやプライドに配慮した声掛けや対応に心掛けている。	利用者への言葉かけは、年長者として失礼のないよう丁寧な言葉使いを徹底している。居室に入室する時は必ずノックし、オムツ交換時は扉を閉めて対応している。プライバシーや個人情報の取り扱いについては、随時ミーティングで話し合っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	なるべく自己決定して頂ける様に複数の選択肢を並べたり、表出できない方は表情や行動から読み取る様にしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな一日の流れはあるが、個々の体調やペースに合わせて、又その日の希望に合わせて支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	個々の好みや清潔な物を選び着ていただいている。又、鏡の前で身だしなみを整えて頂いている。訪問理容にて髪カットしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の食事が楽しみとなる様に個々の好みの物を伺い、一緒に調理や準備をしたりしている。季節ごとに行事食をアドバイスをもらいながら作っている。	献立は、利用者の嗜好を考えユニットごとに担当者が作成している。重度化があり、食事形態や高カロリー食を摂られる方、食事介助の必要な方が増えている。生協の個配の利用や地元の豆腐店、農家から米を仕入れている。皮むきや野菜を切るなどの手伝いをされる方がいる。また、年末はそばきりを楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食べる量や水分量の把握を行い、なるべく摂取出来る様に支援している。嚥下状態によっては、とろみ剤を使用している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、個々に合わせた口腔ケアグッズでケアしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	オムツ使用の方もなるべくトイレでの排泄を促し、清潔保持の為に温水洗浄を行っている。	職員は排泄チェック表にて排泄のリズムを把握し、トイレやポータブルトイレで排泄できるよう支援している。布の下着を着ける方もおられるが、オムツを効率よく使用できるよう心がけており家族会で報告もしている。また、温水洗浄便座の活用や陰部洗浄をして清潔保持に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、排便チェックを行い、毎食後に排便の促しの為、トイレ誘導を行っている。水分摂取及び腹部マッサージ等工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本は一日おきに個々の体調やタイミングに合わせて入浴を楽しんで頂いている。リフト浴にて重度の方も浴槽に入れる様になり、楽しんで頂いている。	隔日ごとに入浴しているが、看取りの方は身体の負担にならないよう3日に1回の入浴介助を提供している。リフト浴を導入してから、利用者の入浴に対する満足度も高まり職員の心身の負担も軽減している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体調やペースに合わせて休息して頂いている。毎日15分程度の日光浴や夕方の体操を取り入れ安眠につながる様にしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診記録簿に処方薬示表を貼付し、いつでも見られる様にしている。服薬時は複数の職員で確認し合い、誤薬の無い様にしている。処方変更時は状態変化に注意する様に情報共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	新聞折・野菜の下拵え・洗濯物たたみ・干し・お盆拭きなど個々の力を活かして役割を持って頂いている。個々に好みの物を聞きながら提供する様にしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外気浴を兼ねて散歩や中庭で体操したり、花壇の花を鑑賞したりドライブに出かけ、季節の花見やぶどう狩りなど参加して頂いた。	気候がよい日は、園庭や近隣を散歩したり、ドライブに出かけ車窓から景色を眺めたりしている。また、花見やぶどう狩りに少人数で出かけた時、家族が面会に来られた時、外出をお願いしたりして協力をもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>1名お金の所持されている。自分の欲しい物を買ったりされている。他の方は使用できる状態ではない。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>いつでも電話できる環境はある。固定電話もコードレスに変更し、どこでも電話できる様になった。遠方の家族との手紙の支援も行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>静かな落ち着いた空間を演出する様に心掛け、季節に合わせた花壇づくりや生け花を飾っている。空気清浄機を整備し、空間除菌剤を随時スプレーしている。いつでも腰かけられる様にあちこちに椅子を置いている。</p>	<p>玄関には、クリスマスを意識した生花が活けてあり、共有スペースも季節の飾りつけがしてあって利用者や訪問者の目を和ませている。木のぬくもりと床暖房の暖かさが気持ちをほぐしてくれる共有空間である。対面式キッチンから調理の光景が伺え、匂いや音が五感を刺激してくれる家庭的な雰囲気があり外の景色を眺めながら食事を楽しんでいる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>いつでもどこでもゆっくりと座れる様に椅子やソファを置いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所時は自宅で使用していた物を持って来て頂き、家族の写真や日頃の様子を撮った写真を飾っている。</p>	<p>家族写真、位牌、椅子など使い慣れたものや好みのものを持ち込み、落ち着きがあり個性的な居室になっている。壁に家族へ伝達文書を入れる封筒が掲示され活用している。また、必要時には夫婦部屋として使用できる居室が配置されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレの場所が分かる様に⇒で示したり、居室入り口に写真を飾り自分の部屋が分かる様にしたっている。建物全体的にバリアフリーで手すりを取り付けている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない